

平成 31 年第 1 回定例会

富良野市議会会議録（第 7 号）

平成 31 年 3 月 15 日（金曜日）

平成 31 年第 1 回定例会

富 良 野 市 議 会 会 議 録

平成 31 年 3 月 15 日 (金曜日) 午前 10 時 01 分開議

議事日程 (第 7 号)

日程第 1 議案第 1 号~第 8 号、第 17 号、第 19 号、第 23 号、第 30 号、第 31 号
(予算特別委員会報告)

日程第 2 議案第 18 号 富良野市上下水道事業経営審議会条例の制定について

日程第 3 議案第 20 号 富良野市地域振興基金条例の一部改正について

日程第 4 議案第 21 号 富良野市教育基金条例の一部改正について

日程第 5 議案第 22 号 富良野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正について

日程第 6 議案第 24 号 富良野市一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格に関する条例の一部改正について

日程第 7 議案第 25 号 富良野市水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部改正について

日程第 8 議案第 28 号 市道路線の認定及び廃止について

日程第 9 議案第 29 号 富良野広域連合規約の変更について

日程第 10 意見案第 1 号 地方公務員法及び地方自治法の一部改正における会計年度任用職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書

追加日程第 1 動議 意見案第 2 号 核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書

出席議員 (18 名)

議 長	18 番	日 里 雅 至 君	副議長	17 番	天 日 公 子 君
	1 番	関 野 常 勝 君		2 番	小 林 裕 幸 君
	3 番	谷 口 正 也 君		4 番	佐 藤 秀 靖 君
	5 番	大 西 三 奈 子 君		6 番	黒 岩 岳 雄 君
	7 番	後 藤 英 知 夫 君		8 番	水 間 健 太 君
	9 番	本 間 敏 行 君		10 番	大 栗 民 江 君
	11 番	宇 治 則 幸 君		12 番	石 上 孝 雄 君
	13 番	萩 原 弘 之 君		14 番	岡 野 孝 則 君
	15 番	今 利 一 君		16 番	岡 本 俊 君

欠席議員 (0 名)

説 明 員

市長 北 猛 俊 君
総務部長 稲 葉 武 則 君
保健福祉部長 若 杉 勝 博 君
ぶどう果樹研究所長 川 上 勝 義 君
看護専門学校長 澤 田 貴美子 君
財政課長 藤 野 秀 光 君
教育委員会教育長 近 内 栄 一 君
農業委員会会長 及 川 栄 樹 君
監査委員 鎌 田 忠 男 君
選挙管理委員会委員長 伊 藤 和 朗 君

副市長 石 井 隆 君
市民生活部長 山 下 俊 明 君
経済部長 後 藤 正 紀 君
建設水道部長 吉 田 育 夫 君
総務課長 今 井 顕 一 君
企画振興課長 西 野 成 紀 君
教育委員会教育部長 亀 淵 雅 彦 君
農業委員会事務局長 井 口 聡 君
監査委員事務局長 佐 藤 克 久 君
公平委員会事務局長 佐 藤 克 久 君
選挙管理委員会事務局長 大 内 康 宏 君

事務局出席職員

事務局 長 川 崎 隆 一 君
書 記 佐 藤 知 江 君

書 記 高 田 賢 司 君
書 記 倉 本 隆 司 君

午前10時01分 開議
(出席議員数18名)

開 議 宣 告

議長(日里雅至君) これより、本日の会議を開きます。

会議録署名議員の指名

議長(日里雅至君) 本日の会議録署名議員には、
大 西 三 奈 子 君
岡 野 孝 則 君
を御指名申し上げます。

諸 般 の 報 告

議長(日里雅至君) 事務局長をして、諸般の報告をいたさせます。

事務局長川崎隆一君。

事務局長(川崎隆一君) -登壇-

議長の諸般の報告を朗読いたします。

今定例会の追加議案につきましては、議会側提出の事件、予算特別委員会報告及び意見案1件につきましては、本日御配付の議会側提出件名表ナンバー2に記載のとおりでございます。

以上でございます。

議会運営委員長報告

議長(日里雅至君) 本定例会の運営に関して、議会運営委員会より報告願います。

議会運営委員長黒岩岳雄君。

議会運営委員長(黒岩岳雄君) -登壇-

おはようございます。

議会運営委員会より、3月12日に委員会を開催し、追加議案の取り扱いについて審議しましたので、その結果を報告いたします。

提出されました追加議案は、議会側提出案件が2件で、内容は、報告1件、意見案1件でございます。

いずれも、本日の日程の中で審議を願うことにしております。

以上、申し上げます、議会運営委員会からの報告を終わります。

議長(日里雅至君) お諮りいたします。

ただいま議会運営委員長より報告のとおり、本定例会を運営したいと思っております。

これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) 御異議なしと認めます。
よって、ただいまお諮りのとおり決しました。

日程第1

議案第1号から議案第8号及び議案第17号、議案第19号、議案第23号、議案第30号、議案第31号(予算特別委員会報告)

議長(日里雅至君) 日程第1、議案第1号から議案第8号及び議案第17号、議案第19号、議案第23号、議案第30号、議案第31号、以上13件を一括して議題といたします。

本件13件は、予算特別委員会に付託した案件でありませぬ。

予算特別委員会の報告を求めます。

予算特別委員長石上孝雄君。

予算特別委員長(石上孝雄君) -登壇-

おはようございます。

予算特別委員会より、審査の経過と結果について御報告いたします。

本委員会は、2月27日、議員全員をもって設置され、議案第1号ほか12件の議案審査の付託を受け、同日、正副委員長の選出を行い、3月11日、12日、13日の3日間にわたり、市長を初め、関係する職員の出席を求め、慎重に審査を行ったところであります。

付託されました予算等につきましては、本会議第1日目に理事者から提案されました予算概要にもありますように、平成31年度においては、第5次富良野市総合計画後期基本計画の4年目として必要な施策を着実に推進するとともに、富良野市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる目標を達成できるよう、骨格予算であった前年度予算対比6.2%増の一般会計、特別会計、企業会計の総額203億5,190万円の平成31年度当初予算とこれに関連する議案で、審査に当たっては、国の地方財政対策等を踏まえ、厳しい財政状況の中にあつて各種事業の適正な執行の観点から質疑が行われました。

質疑等の状況につきましては、一般会計予算につきましては、特に、総務費では、ふるさと納税推進事業、新庁舎建設事業、移住促進事業、防災関連事業など、民生費では、権利擁護センター事業、養護老人ホーム寿光園運営管理事業、子ども医療給付事業、子ども・子育て関連事業など、衛生費では、地域医療対策費、地球温暖化防止対策事業、固形燃料ボイラー熱供給設備使用事業など、農林業費では、農業担い手育成センター運営管理経費、農家子弟就農促進事業、農地耕作条件改善事業など、商工費では、メイドインフラノ推進事業、スノーファンタジー推進事業、中心市街地活性化事業など、土木費で

は、消融雪施設普及事業、除雪対策事業、まちなか居住促進事業など、教育費では、いじめZERO（ゼロ）推進事業、学校図書館活用推進事業、育英事業、教材整備事業などについて、また、特別会計、企業会計では、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、ワイン事業会計について活発な質疑が行われました。

質疑終了後、討論の申し出はなく、採決の結果、議案第1号は、2名退席の中で原案どおり可決し、その他の議案第2号から議案第8号まで及び議案第17号、議案第19号、議案第23号、議案第30号、議案第31号までの付託された12件の議案については、全会一致をもってそれぞれ原案のとおり可決すべきものと決定した次第であります。

なお、審査中に述べられました意見を十分検討され、予算執行に当たられますよう申し上げ、予算特別委員会からの審査の経過と結果の報告といたします。

議長（日里雅至君）お諮りいたします。

本件は、委員長の報告に関する質疑及び討論は省略し、直ちに採決したいと思えます。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君）御異議なしと認めます。

よって、本件は、質疑・討論を省略することに決しました。

これより、本件13件の採決を行います。

最初に、議案第1号、平成31年度富良野市一般会計予算及びこれに関連する議案第17号、富良野市財政調整基金の処分について、議案第19号、富良野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について、議案第23号、富良野市乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部改正について、議案第30号、富良野市重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正について、以上5件について一括して採決を行います。

お諮りいたします。

本件5件の委員会報告は、可決すべきものであります。

本件5件について、委員会報告のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君）御異議なしと認めます。

よって、本件5件は、委員会報告のとおり可決することに決しました。

次に、議案第2号、平成31年度富良野市国民健康保険特別会計予算、議案第3号、平成31年度富良野市介護保険特別会計予算、議案第4号、平成31年度富良野市後期高齢者医療特別会計予算、議案第5号、平成31年度富良野市公共下水道事業特別会計予算及び関連する議案第31号、富良野市公共下水道事業基金の処分について、議案

第6号、平成31年度富良野市簡易水道事業特別会計予算、議案第7号、平成31年度富良野市水道事業会計予算、議案第8号、平成31年度富良野市ワイン事業会計予算、以上8件について一括して採決を行います。

お諮りいたします。

本件8件の委員会報告は、可決すべきものであります。

本件8件について、委員会報告のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君）御異議なしと認めます。

よって、本件8件は、委員会報告のとおり可決することに決しました。

日程第2

議案第18号 富良野市上下水道事業経営審議会条例の制定について

議長（日里雅至君）日程第2、議案第18号、富良野市上下水道事業経営審議会条例の制定についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君）なければ、本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君）御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第3

議案第20号 富良野市地域振興基金条例の一部改正について

議長（日里雅至君）日程第3、議案第20号、富良野市地域振興基金条例の一部改正についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君）なければ、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） 御異議なしと認めます。
よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第4

議案第21号 富良野市教育基金条例の一部改正
について

議長（日里雅至君） 日程第4、議案第21号、富良野市教育基金条例の一部改正についてを議題といたします。
これより、本件の質疑を行います。
質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） なければ、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） 御異議なしと認めます。
よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第5

議案第22号 富良野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正
について

議長（日里雅至君） 日程第5、議案第22号、富良野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正についてを議題といたします。
これより、本件の質疑を行います。
質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） なければ、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） 御異議なしと認めます。
よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第6

議案第24号 富良野市一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格に関する条例の一部改正について

議長（日里雅至君） 日程第6、議案第24号、富良野市一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格に関する条例

の一部改正についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） なければ、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） 御異議なしと認めます。
よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第7

議案第25号 富良野市水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部改正について

議長（日里雅至君） 日程第7、議案第25号、富良野市水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部改正についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） なければ、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） 御異議なしと認めます。
よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第8

議案第28号 市道路線の認定及び廃止について

議長（日里雅至君） 日程第8、議案第28号、市道路線の認定及び廃止についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） なければ、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第9

議案第29号 富良野広域連合規約の変更について

議長（日里雅至君） 日程第9、議案第29号、富良野広域連合規約の変更についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。
質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） なければ、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第10

意見案第1号 地方公務員法及び地方自治法の一部改正における会計年度任用職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書

議長（日里雅至君） 日程第10、意見案第1号、地方公務員法及び地方自治法の一部改正における会計年度任用職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書を議題といたします。

本件について、提案者の説明を求めます。

11番宇治則幸君。

11番（宇治則幸君） -登壇-

おはようございます。

意見案第1号は、地方自治法第112条及び富良野市議会会議規則第13条の規定により、石上孝雄議員外5名の賛同を得て提出するものであります。

意見案第1号、地方公務員法及び地方自治法の一部改正における会計年度任用職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書。

総務省調査によると、2017年度の北海道と道内市町村に勤務する臨時・非常勤等職員は、延べ6.3万人に上り、その多くが恒常的業務に従事するなど、地方行政の重要な担い手となっている。正規社員と同様の働き方にもかかわらず、年収は200万円程度と正規職員に比べて圧倒的に低く、休暇制度においてもその待遇格差は大きくなっており、地方自治体に勤務する正規、非正規の賃金、労働条件の格差は拡大する一方である。

こうした中、2017年5月11日に地方公務員法及び地方

自治法の一部改正法が成立し、新たな一般職非常勤職員である会計年度任用職員は、非常勤職員を法的に位置づけるとともに、職務給の原則に基づき、常勤職員との均等待遇を求めている。

については、行政サービスの質の確保と、臨時・非常勤等職員の待遇改善、雇用安定の観点から、次の措置を講ずるよう強く要望する。

記。

1、各自治体において、地方公務員法及び地方自治法の改正趣旨が十分に反映されるよう、必要な財源の確保について特段の配慮を行うこと。

2、非正規労働者の格差是正を求める同一労働同一賃金の法改正の動向も踏まえ、パートタイム労働法の趣旨を会計年度任用職員に適用させるよう、法整備を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出するものであります。

議員各位の賛同をよろしくお願いいたします。

議長（日里雅至君） これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） なければ、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

直ちに、関係機関に送付いたします。

日程追加の議決

議長（日里雅至君） この際、先ほど、文書をもって、提出者今利一君外5名により、意見案第2号の提出がありました。

所定の賛成者もあり、動議は成立いたしております。この際、本件を日程に追加し、議案とすることに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） 御異議なしと認めます。

よって、意見案第2号を日程に追加し、議題とすることに決しました。

追加日程第1

動議 意見案第2号 核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書

議長（日里雅至君） 追加日程第1、意見案第2号、核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書を議題といたします。

本件について、提案者の説明を求めます。

15番今利一君。

15番（今利一君） -登壇-

おはようございます。

意見案第2号、核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書であります。石上孝雄、黒岩岳雄両議員外3名の賛同を得て提出するものであります。

広島と長崎にアメリカの原子爆弾が投下されてから72年を経た2017年7月7日、歴史的な核兵器禁止条約が採択されました。

条約は、核兵器について、破滅的な結末をもたらす非人道的な兵器であり、国連憲章、国際人道法、国際人権法に反するものであると断罪し、核兵器は不道德であるだけでなく、国際法史上、初めて違法なものとなりました。

条約は、開発、生産、実験、製造、取得、保有、貯蔵、使用とその威嚇に至るまで、核兵器にかかわるあらゆる活動を禁止するものとなっており、また、核保有国の条約への参加の道を規定するなど、核兵器完全廃絶への枠組みを示している。同時に、被爆者や核実験被害者への援助を行う責任も明記(124ページで訂正)され、被爆国、被害国の国民の切望に応えるものとなっております。

このように、核兵器禁止条約は、被爆者とともに我々国民が長年にわたり熱望してきた核兵器完全廃絶につながる画期的なものである。

核兵器禁止条約の採択から1年余りが経過し、世界各国でも前向きな変化が生まれている。2019年2月現在、条約調印国は、アジア、ヨーロッパ、中南米、アフリカ、太平洋諸国の70カ国、批准国は22カ国に達している。

日本は、広島と長崎への原爆投下に見られる核の惨禍を体験した唯一の被爆国として、核兵器廃絶のために核兵器の禁止に賛同し、推進の先頭に立つことが求められている。

よって、国に対して、下記の事項を強く求めるものであります。

記といたしまして、日本政府は、速やかに核兵器禁止条約に署名、批准すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出するものであります。

よろしく御賛同のほど、お願い申し上げます。

議長（日里雅至君） 暫時休憩いたします。

午前10時30分 休憩

午前10時30分 開議

議長（日里雅至君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

休憩前の議事を続行いたします。

読み違いがあったということで、訂正の申し出がありましたので、これを認めます。

15番今利一君。

15番（今利一君） -登壇-

失礼いたしました。

先ほどの意見案の中で、中段でございます。責任も明記されと読まなければいけないところを、規定されと読みました。正しくは、責任も明記されということでございます。間違えて、非常に申しわけございません。

訂正し、賛同のほど、よろしく願い申し上げます。

以上でございます。

議長（日里雅至君） これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

10番大栗民江君。

10番（大栗民江君） いま、今議員のほうから提出されました意見書でございますけれども、この核兵器廃絶に向けての取り組みというのは、すごく大切な取り組みと実感しているところでございますが、記として書かれておりますのは、速やかに核兵器禁止条約の署名、批准を求めるということでございました。

その中で、条約調印国は70カ国で、批准国は22カ国に達しているといういまの御説明ですが、日本政府に求めるのであれば、署名という形ではなくて、きちんと調印をしていくださいということ、また、日本がいま進めている核兵器廃絶に向けての対話をさらに強めるとともに、核保有国と非保有国との溝を埋めて、核保有国の条約への賛同を得られるような努力を求めていくことが大切ではないかと思っておりますので、全会派網羅の意見書が富良野市議会から提出されるように、次期の定例会において、再度、提出を願いたいところであります。

質問といたします。

議長（日里雅至君） 暫時休憩いたします。

午前10時34分 休憩

午前10時34分 開議

議長（日里雅至君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

休憩前の議事を続行いたします。

15番今利一君。

15番（今利一君） -登壇-

ただいまの大栗議員の質問は、二つあったと思います。一つは、署名という言葉で調印に変えたほうがいいとい

うふうな意見でありました。

この文言については、ずっと見ている中では調印でも署名でも私はいいのではないかというふうに判断しておりますので、その方向でお願いしたいと思います。

もう一つは、次期に延ばしたほうがいいというふうな御意見でございました。

この意見案に関しては、私も、6月以来、ずっともんできたわけでありましてけれども、皆さんの賛同を得ることができなかったことから議員提案といたしました。その辺で、よろしく御理解のほどをお願い申し上げたいと思います。

以上でございます。

議長（日里雅至君） そのほか質疑ございませんか。
10番大栗民江君。

10番（大栗民江君） いま、今委員から御答弁がございました。

いままでずっと意見書が流れていたということも承知しております。そういう中では、議員提案ではございませんけれども、富良野市議会として提出いたしていくという中では、一つ目の署名と批准は、私は調印と批准とは言っておりません。まずは調印を求める形で提出していくべきではないかと考えていることと、核兵器廃絶に向けての対話を日本国政府としてさらにしっかりと行っていくべきではないか、そういう思いでの質問でございます。

ですから、署名と批准、それと対話に関しては、私としては同じように感じているところですが、しっかりと日本国政府に求めていく、そういう態度を示していくべきではないかと思っているところであります。

以上、その考えに関しまして、よろしくお願いたします。

議長（日里雅至君） 御意見ということでよろしいですか。

10番（大栗民江君） はい。

議長（日里雅至君） そのほか質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） なければ、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

直ちに関係機関に送付いたします。

市 長 挨 拶

議長（日里雅至君） この際、市長より御挨拶の申し出がございまして、これをお受けいたします。

市長北猛俊君。

市長（北猛俊君） -登壇-

平成31年第1回定例会の閉会に当たりまして、お許しをいただきましたので、一言、御礼の御挨拶を申し上げます。

今期定例会は、去る2月26日から本日までの18日間の長きにわたって開催されましたが、この間、議員各位におかれましては、追加議案を含め、31件という数多くの案件につきまして、連日、慎重な御審議と御審査を賜り、御提案申し上げました全ての案件につきまして、原案のとおり、可決または承認をいただきましたことに厚くお礼を申し上げます。

特に、平成31年度予算並びに関連する条例等につきましては、予算特別委員会において綿密なる御審査をいただきましたが、この間における正副委員長の御苦労と委員各位の御熱心な審査に対しまして、深く感謝を申し上げます次第でございます。

また、平成31年度市政執行方針にかかわる代表質問、さらに、一般質問におきましては、7名の方々から現下の諸問題を中心に幅広く御示唆に富んだ御質問を賜り、それぞれ御答弁を申し上げましたが、検討課題とさせていただきます事項につきましては、今後も十分に留意してまいりたいと存じております。

なお、今期定例会で御決定いただきました平成31年度予算につきましては、議会の御意見に十分留意しながら、全ての市民が健康で幸せが実感できるまちづくりの精神に基づき、各事務事業の適正かつ効率的な執行に努めてまいります。

さて、議員各位におかれましては、来る4月30日をもって任期満了となるわけでございますが、今日に至るまで、多大な御尽力と御貢献をいただけてきたところであります。新しい時代の幕あけにふさわしいふるさと富良野を創造する極めて重要なこの時期に、豊富な知識と経験をもとに議員活動を展開され、本市が目指す将来像の実現に向け、多大な御貢献を賜りましたことに、衷心より感謝と敬意を申し上げます。

加えまして、議長、副議長におかれましては、円滑なる議会運営に御尽力をいただき、さらに、私ども当局に対しましても御高配を賜りましたことに、厚く感謝を申し上げます次第であります。

4月21日に執行されます富良野市議会議員選挙に引き続き立候補される議員各位には、御健康に十分御留意をいただきまして、はえある当選の栄に浴されますよう、心から御祈念申し上げます次第でございます。

また、今期限りで勇退される議員の方々におかれましては、本日までの御尽力並びに私どもに対する御高配に

対しまして、改めて感謝を申し上げるところでございますが、今後とも、市政進展のために大所高所から御指導、御鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

今期4年間の議員各位の御活躍につきましては、言葉では言い尽くせないところもございますが、市政各般にわたる御指導、そして御協力に対しまして、重ねて深甚なる敬意と感謝の誠をささげ、それぞれの皆様が見事当選を果たされ、再びこの議場で議論をさせていただくことを思いながら、平成31年第1回定例会の閉会に当たっての御礼の御挨拶とさせていただきます。

まことにありがとうございました。（拍手）

議 長 挨 拶

議長（日里雅至君） -登壇-

平成31年第1回定例会閉会に当たり、一言、御挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、公正かつ円滑な運営、富良野市議会基本条例に基づき、情報公開と市民参加を基本に議会運営に真摯に向かい合っただき、本定例会に提案されました議案、そして代表質問、一般質問と活発な議論がなされたところであります。

今後も、より身近な議会、公正・公平、市民のためになる議会を目指し、各課題解決に努力をしていかなければなりません。本市の基幹産業である農業、観光、そして圏域の中核となる商工業の連携を一層深め、富良野市の経済基盤を強固にし、福祉、医療、防災、教育、子育て支援、JRの存続、市庁舎改築など、市民生活にかかわる諸課題の解決に向け、議員各位、理事者、行政職の皆さん、市民の皆さんと力を合わせて取り組んでいかなければならないと考えます。

ただいま、北市長から大変温かい御挨拶がございました。昨年、市長になられ、市政を担当されて約11カ月が経過し、すべての市民が健康で生きがいを感じ、安全で安心して暮らして、幸せが実感できるまちづくりを目指して、市民の皆様とともに、富良野市の発展のためにさらなる努力をしていただきたいと思います。

結びに、議員各位、理事者、行政職の皆様には、健康に十分留意され、市民生活の充実、発展に御尽力いただきますようお願い申し上げます、御挨拶といたします。

この4年間、御苦労さまでございました。（拍手）

閉 会 宣 告

議長（日里雅至君） 以上で、本日の日程を終わり、本定例会の案件は、全て終了いたしました。

これをもって、平成31年第1回富良野市議会定例会を閉会いたします。

上記会議の記録に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成31年 3月15日

議 長 日 里 雅 至

署名議員 大 西 三 奈 子

署名議員 岡 野 孝 則